



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	明治十年代の内國貿易(二)
Author(s)	山口, 和雄
Citation	北海道大學 經濟學研究, 3, 1-38
Issue Date	1952
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/30987
Type	departmental bulletin paper
File Information	3_P1-38.pdf



明治十年代の内國貿易(二)

山口和雄

序	一、東	二、北	三、山	四、山	五、四	六、近	七、東	八、關	九、九	一〇、北	結
	北	陸	陰	陽	國	畿	海	東	州	海	
	區	區	區(以上前號)	區	區	區	區(以上本號)	區	區	道	

四 山 陽 區

山 口 縣

「西南諸港報告書」には、山口縣としては、上關、室津、三田尻、赤間關（下關）四港の輸出入額が掲載されておるが、三田尻及び赤間關の數字は明治十三年のみであるので、明治十三年のみにつてみることにした。まず各港の輸出入額を示すと第四五表の如くである。

明治十三年山口縣港別輸出入表（45表）

港 名	輸 出	輸 入
上 關	56,343 ^円 (0)	71,281 ^円 (14,941)
室 津	40,097 (3,168)	50,030 (13,102)
三 田 尻	414,000 (414,000)	142,111 (142,111)
赤 間 關	3,777,029 (217,087)	4,058,449 (472,704)
計	4,287,469 (634,255)	4,316,871 (662,858)

備考 カツコ内の數字は再輸出額を控除した純粹の輸出入額である。
「西南諸港報告書」476—478頁、501—503頁、511—512頁、533—537頁により作成す。

表記のように、山口縣においては三田尻を除く他港はいづれも輸出入の仲立港としての役割が強い。ことに、赤間關は代表的な仲立港で、その取引高は巨額である。

また「第四統計年鑑」には山口縣の輸出入額が第四六表のごとく記されておる。

次に「西南諸港報告書」掲載の上關・室津・三田尻・赤間關四港の合計輸出入額をかりに山口縣のそれとみなし輸出入品を整理してみると第四七表の如くである。

表記のように、米を筆頭に各種の商品が輸出入されておるが、その多くが再輸出され純粹の輸出入は比較的すくない。純輸出入についてみるに、主要輸出品は鹽、次いで紙であつて、前者は純輸出額の七六％、後者は二二％、兩者

明治16年山口縣輸出入表 (46表)

港 名	輸 出 額	主要輸出品	輸 入 額	主要輸入品
赤 間 關	3,243,816 ^円	米	3,345,382 ^円	米
其他七ヶ所	181,933	—	224,245	—
合 計	3,425,749		3,569,627	

備考 「第四統計年鑑」264頁による。

明治13年山口縣輸出入品表 (47表)

品 名	輸 出		輸 入		差 引	
米	187,947 ^石	1,784,341 ^円	229,785 ^石	2,181,852 ^円	(-) 41,838 ^石	(-) 397,511 ^円
麥	8,582	57,751	10,182	69,271	(-) 1,600	(-) 11,520
大 豆	37,337	239,012	40,382	258,511	(-) 3,045	(-) 19,499
小 豆	2,725	15,025	3,030	16,710	(-) 305	(-) 1,685
菜 種	5,000	32,500	5,000	32,500	—	—
干 鰯	160,000 ^貫 4,800 ^匁	39,204	160,000 ^貫 4,800 ^匁	39,204	—	—
胴 鰯	416,012	92,404	416,012	92,404	—	—
鰯 粕	1,086,350	266,263	1,086,350	266,263	—	—
身 欠 鰯	72,000	24,480	72,000	24,480	—	—
笹 目 鰯	143,528	25,408	143,528	25,408	—	—
数 ノ 子	178,198	66,098	185,098	68,651	(-) 6,900 ^貫	(-) 2,553
昆 布	7,900 ^石 100 ^匁	66,600	8,800 ^石 100 ^匁 204 ^貫	71,950	(-) 900 ^石 204 ^貫	(-) 5,350
棒 鱈	114,000 ^貫	66,120	120,000 ^貫	69,600	(-) 6,000 ^貫	(-) 3,480
タ ラ 中	38,800	12,416	40,000	12,800	(-) 1,200	(-) 384
魚 油	5,000 ^匁	17,500	5,000 ^匁	17,500	—	—
干 烏 賊	30,000 ^貫	45,000	30,000 ^貫	45,000	—	—
鰹 節	42,000	71,400	45,000	76,500	(-) 3,000	(-) 4,100
生 蠟	2,350,000 ^斤	423,360	2,450,000 ^斤	441,000	(-) 100,000 ^斤	(-) 17,640
鹽	429,299 ^石	534,642	39,365 ^石	47,510	(+) 389,934 ^石	(+) 487,132
七 島 蕨	19,500 ^束	30,225	20,000 ^束	31,000	(-) 500 ^束	(-) 775
白 砂 糖	309,082 ^斤	34,329 ^円	510,523 ^斤	56,552 ^円	(-) 201,470 ^斤	(-) 22,223 ^円

黑砂糖	1,155,958 ^斤	81,001 ^円	1,231,895 ^斤	86,318 ^円	(-) 75,927 ^斤	(-) 5,317 ^円
砂糖	—	—	1,950 ^桶	32,019 ^円	(-) 1,950 ^桶	(-) 32,019 ^円
石油	5,000 ^箱	115,330 ^円	10,000 ^箱	174,889 ^円	—	(-) 59,560 ^円
種油	700 ^挺	19,000	3,200 ^挺	36,000	(-) 5,000 ^箱	(-) 17,000
酒	3,600 ^桶	3,220	3,600 ^桶	13,760	(-) 2,500 ^挺	(-) 10,540
袋入煙草	220,000 ^袋	21,264	250,000 ^袋	21,640	—	(-) 376
刻煙草	700,000 ^玉	19,800	—	22,500	(-) 30,000 ^袋	(-) 2,700
國分煙草	—	28,000	100,000 ^斤	—	(+) 700,000 ^玉	(+) 28,000
豐後煙草	—	—	1,500 ^玉	25,000	(-) 100,000 ^斤	(-) 25,000
		47,800		47,548	(-) 1,500 ^玉	(-) 48
半紙	11,550 ^丸	97,220 ^円	150 ^丸	1,505 ^円	(+) 11,500 ^丸	(+) 95,714 ^円
白保紙	10,000 ^丸	48,000	—	—	(-) 10 ^丸	(+) 48,000
半田紙	700 ^丸	7,350	700 ^丸	7,350	(+) 10,000 ^丸	(+) 48,000
鷹紙	300 ^丸	251	320 ^丸	262	(-) 20 ^丸	(-) 11
薪	—	152,821 ^円	1,130,000 ^貫	9,118 ^円	—	(+) 143,703 ^円
石炭	—	—	380,025 ^担	13,560	(-) 130,000 ^貫	(-) 13,560
石灰	—	—	200,000 ^依	79,852	(-) 380,025 ^担	(-) 79,852
浮子粕	35,000 ^貫	6,475	35,000 ^貫	12,000	(-) 200,000 ^依	(-) 12,000
煎海鼠	10,000 ^斤	5,000	10,000 ^斤	6,475	—	—
干鰯	10,000 ^斤	2,100	10,000 ^斤	5,000	—	—
繰綿	90 ^本	998	130 ^本	2,100	—	—
炭綿	—	—	1,000 ^依	1,360	(-) 40 ^本	(-) 362
綿傘	4,800 ^反	2,880	—	270	(-) 1,000 ^依	(-) 270
唐芋	874 ^貫	48	—	15	(+) 4,800 ^反	(+) 2,880
苦麵	4,800 ^貫	240	—	—	(-) 18 ^貫	(-) 5
紫麵	120 ^挺	534	155 ^挺	690	(+) 874 ^貫	(+) 48
疊表	—	—	2,600 ^束	4,680	(+) 4,800 ^挺	(+) 240
計		4,287,459		4,316,871	(-) 662,858	(+) 634,255

備考 「西南諸港報告書」 476-478頁, 501-503頁, 511-512頁, 533-537頁により作成す。

で九八%を占めておる。鹽の主要生産地及び輸出港は三田尻であつて、明治十三年における三田尻の製鹽高は三十六万石、その大部分が輸出されておる。その輸出先次の如し。(「西南諸港報告書」五頁 一六―五一七頁)

七万二千石

九州

十七万二千八百石

奥羽

十一万五千二百石

北海道

輸入品としては、米が最大で、純輸入額の六〇%を占める。つゞいて石炭(二二%)、砂糖(九%)、大豆(三%)、生蠟(二%七)など。練粕を筆頭とする北海道水産物の輸入も巨額に達するが、これは殆んど全部再輸出されその輸出先については、「罾數ノ子昆布ハ多ク九州ニ轉賣シ、鯡鮫粕ハ大抵四國へ輸出ス」(「西南諸港報告書」五二九頁)と記されておる。

なお、「山口縣統計書」にはこの種の調査は欠除しておる。

廣 島 縣

廣島縣としては「西南諸港報告書」には松ヶ濱・尾ノ道・鞆・忠海・御手洗・廣島六港の數字が掲載されておる。それを示すと第四八表のごとくである。

また、「明治十六年廣島縣統計書」には十四年・十五年・十六年の各港輸出入額が掲載されておるので、それをみると第四九表の如くである。

次に輸出入品であるが、まず輸出品についてみる。「西南諸港報告書」により前記六港の輸出高を整理合算し、これを廣島縣のそれとみなして表示すると第五〇表の如くである。

輸出品の種類はみんな四十種餘に及ぶが、中でも最大の輸出品は鐵で、いづれの年度においても全輸出額の二五

廣島縣港別輸出入表 (48表)

港 名	明 治 1 1 年		同 1 2 年		同 1 3 年	
	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入
松 濱	280,559 (249,929)	92,418 (64,378)	421,406 (375,050)	134,864 (87,836)	665,900 (592,870)	228,685 (154,285)
尾ノ道	1,415,326 (883,320)	2,033,974 (1,605,130)	1,570,579 (972,049)	2,502,475 (1,975,005)	1,800,165 (1,174,815)	2,643,082 (2,229,912)
鞆	211,922 (95,259)	288,176 (271,589)	216,505 (89,252)	393,950 (267,870)	533,409 (242,784)	547,682 (416,500)
忠 海	4,769 (4,764)	53,333 (53,327)	9,732 (9,584)	80,976 (80,863)	10,047 (5,816)	77,294 (76,854)
御手洗	40,802 (40,802)	62,898 (22,182)	62,950 (62,950)	96,547 (35,700)	77,267 (77,267)	116,130 (42,821)
廣 島	1,008,693 (859,731)	1,500,487 (1,123,139)	1,051,477 (873,832)	1,352,185 (950,789)	1,420,993 (1,243,314)	1,531,163 (1,265,933)
合 計	2,962,071 (2,093,003)	4,031,286 (3,139,745)	3,332,649 (2,319,767)	4,560,997 (3,398,063)	4,507,781 (3,259,599)	5,144,036 (4,186,305)

明治十年代の内國貿易(二) 山口

備考 カッコ内の數字は再輸出額を控除した純料の輸出入額である。
 「西南諸港報告書」232-240頁, 279-291頁, 336-342頁, 358-370頁, 389-398頁,
 421-433頁により作成す。

廣島縣港別輸出入表 (49表)

港 名	明 治 1 4 年		同 1 5 年		同 1 6 年	
	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入
廿日市港	87,632	29,813	101,249	70,295	156,040	151,165
下市港	77,530	28,943	209,884	356,547	74,680	179,108
忠海港	5,661	59,147	16,891	48,204	3,297	16,380
尾道港	2,164,281	2,517,785	1,161,537	1,407,155	556,779	1,270,794
鞆港	447,665	596,139	257,566	363,223	140,711	163,041
廣島河岸場	428,337	1,649,902	815,365	2,173,634	731,586	1,625,027
三次河岸場	516,479	500,806	186,810	231,427	96,605	112,915
福山河岸場	387,485	509,483	253,177	514,938	176,850	253,111
松永港	?	?	84,873	40,735	76,886	18,135
合 計	4,115,070	5,892,018	3,087,352	5,206,158	2,013,434	3,790,206

備考 「明治十六年廣島縣統計書」117頁による。合計額は筆者の算出による。

廣島縣輸出品表 (50表)

品 名	明治 11 年		同 12 年		同 13 年	
	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量	價 額
鐵	103,450 ^駄	515,100 ^円	84,100 ^駄	604,350 ^円	87,350 ^駄	824,500 ^円
鹽	308,000 ^石 4,432 ^俵	249,783	380,010 ^石 7,842 ^俵	331,285	466,000 ^石 632 ^俵	540,466
蠟 表	1,175,900 ^枚	239,938	1,311,205 ^枚	276,020	1,504,500 ^枚	333,800
綿	74,300 ^貫 7,936 ^本 4,800 ^俵	186,275	60,150 ^貫 8,785 ^本 4,200 ^俵	174,070	81,700 ^貫 8,500 ^本 7,685 ^俵	261,820
實 綿	3,000 ^本	15,750	4,000 ^本	24,000	5,000 ^本	37,500
條 卷	882	2,469	792	2,379	719	2,336
木 棉	231,200 ^反	147,120	246,000 ^反	107,600	242,000 ^反	123,220
麻 苧	900 ^丸 20,000 ^貫	105,655	5,000 ^丸 21,500 ^貫	154,455	12,500 ^丸 23,000 ^貫	228,350
錯	15,700 ^担	55,565	15,200 ^担	62,940	20,230 ^担	118,523
釘・鋸・針	? ^石	36,314	? ^石	40,157	? ^石	43,805
酢	10,000	30,000	12,604	40,144	13,500	44,550
煙 草	42,239 ^貫 100,000 ^斤	24,772	55,160 ^貫 123,000 ^斤	57,421	61,120 ^貫 110,000 ^斤	67,780
傘	356,750 ^本	27,469	380,750 ^本	27,469	431,730 ^本	60,442
山 繭	38,500 ^反	26,810	36,000 ^反	28,800	29,700 ^反	28,809
履 物	175,450 ^足	25,440	175,450 ^足	25,440	153,700 ^足	25,360
髮 付 油	144,440 ^斤	26,226	97,594 ^斤	16,591	232,960 ^斤	23,932
牛 馬 皮	2,688 ^枚	20,856	2,456 ^枚	20,929	2,915 ^枚	25,080
稻 鑄	15,000 ^担	13,500	30,000 ^担	16,200	37,000 ^担	48,100
其 他		343,961		309,517		421,226
合 計		2,093,003		2,319,767		3,259,599

備考 「西南諸港報告書」 232-240頁, 279-291頁, 336-342頁, 358-370頁, 389-398頁, 421-433頁により作成す。

本表は純輸出額についてみたものである。

廣島縣輸入品表 (51表)

品 名	明治 11 年		同 12 年		同 13 年	
	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量	價 額
米	172,300 ^石	987,517 ^円	109,907 ^石	801,092 ^円	135,142 ^石	1,286,963 ^円

鯨	粕	478,588 ^貫 21,200 ^本	316,084	552,852 ^貫 29,000 ^本	352,315	760,249 ^貫 29,000 ^本	445,774
干鰯	鰯粕	428,000 ^俵 23,782 ^貫 5,415 ^本	236,084	449,129 ^俵 26,549 ^貫 6,380 ^本	358,608	460,746 ^俵 29,893 ^貫 8,565 ^本	330,328
羽	鯨	140,400 ^束 393,971 ^貫	136,333	205,400 ^束 491,973 ^貫	198,159	148,000 ^束 220,864 ^貫	99,800
呉服	太物	146,400 ^反	307,400	145,300 ^反	344,700	129,400 ^反	383,750
洋反	物	231,250 ^石	175,000	206,150 ^石	173,050	192,900 ^石	170,000
石	油	8,850	141,300	9,335	168,032	9,767	193,311
種	油	4,540	108,940	4,518	98,451	4,567	105,377
茶	種	10,000	60,000	11,500	71,000	12,000	78,000
酒		8,090 ^貫	78,955	8,115 ^貫	80,658	9,406 ^貫	104,441
鯨	節	45,000	75,000	49,000	74,550	61,500	68,800
素	麵	11,050 ^箱 340 ^斤	42,972	12,320 ^箱 290 ^斤	52,209	16,500 ^箱 350 ^斤	71,450
藥	種	172,000 ^斤	29,240	160,000 ^斤	24,000	143,000 ^斤	22,880
洋	鐵	64,000 ^貫	17,280	89,600 ^貫	36,864	102,400 ^貫	43,000
其	他		427,612		554,365		781,426
合	計		3,139,745		3,398,053		4,185,305

備考 出典前表と同一。本表も純輸入額についてのものである。

%内外をしめておる。これにつぐのは鹽(一二%乃至一六%)、蠟表(一一%乃至一二%)、綿類(八%六乃至九%八)、木綿(四%乃至七%)、麻苧(五%乃至六%)などであつた。
輸入品は第五一表のごとくである。

輸入品の種類も五十種内外であるが、最大の輸入品は米で、全輸入額の二四%乃至三一%を占めておる。これに次ぐのは鯨粕(一〇%)、呉服太物(九%乃至一〇%)、干鰯・鰯粕・油粕(七%乃至一〇%)、洋反物(四%乃至六%)、石油(四%乃至五%)、羽鯨(三%乃至六%)、種油(二%乃至三%)などであつた。
明治十五年及び十六年の「廣島縣統計書」にも輸出品の記載はあるが、輸入品の方が欠除しておるので省略する。

岡山縣

岡山縣としては、岡山・玉島及び各港河岸場の輸出入額が掲載されておる。それを示すと第五

岡山縣港別輸出入表 (52表)

港 名	明 治 1 2 年		同 1 3 年	
	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入
岡 山	204,520 ^円 (145,899)	678,825 ^円 (621,457)	290,709 ^円 (177,094)	925,300 ^円 (819,981)
玉 嶋	185,597 (157,155)	535,654 (535,180)	252,103 (213,687)	688,100 (657,909)
各港河岸場	2,127,837 (1,610,252)	2,379,285 (1,830,135)		
計	2,517,954 (1,873,297)	3,644,774 (3,037,782)	542,812 (390,781)	1,613,400 (1,477,890)

備考 カツコ内の數字は再輸出額を控除した純粹の輸出入額である。
「西南諸港報告書」832-833頁, 837-848頁により作成す。

二表のごとくである。

上表には明治十三年の各港河岸場の輸出入額が欠除してあるが、「第二統計年鑑」によれば、同年岡山縣の各港河岸場輸出額は二、七四九、八一八圓、輸入額は三、二四四、六四五圓である(二〇三頁)。また、「第四統計年鑑」によれば、明治十六年岡山縣各港輸出入額は次頁上段に示す如くである。

岡山縣においても各種の商品が輸出入されていたのであつて、たとえば明治十二年各港河岸場についてみると輸出品百十九種、輸入品百十四種に及んでおる。こゝでは「西南諸港報告書」により明治十二年の各港主要輸出入品について整理合算してみると第五三表の如くである。

すなわち、最大の輸出品は米で、全輸出額の二九%をしめる。これにつぐのは鹽(一八%)、綿類(一三%)、木綿類(七%)、銅(四%)、古着類(四%)などであつた。

輸入品としては肥料類が最大で、全輸入額の三二%をしめる。肥料類の内譯は各港河岸場の場合が不明であるので明らかでないが、鯨粕が最も重要なものであつたことは疑いない。試みに、玉島港をみると次の如くである。

鯨 粕	一、五五七、九六六貫	三八〇、〇一二圓
羽 鯨	三五五、一三六	七四、二六六
鯨 ホシカ	七六、五八九	九、八五八

明治16年岡山縣港別輸出入表

港 名	輸 出 額	主 要 輸 出 品	輸 入 額	主 要 輸 入 品
玉 島 港	586,399 ^円	綿, 肥料	575,335 ^円	肥料
笠 岡 港	172,219	米, 素麵, 綿, 刻苳	228,775	米, 大豆, 砂糖
岡 山 港	809,708	米, 鹽, 醬油	955,729	鹽, 干魚, 肥料
西大寺河岸	319,436	米	95,706	洋反物, 吳服太物
高 梁 河 岸	239,395	刻苳	83,647	鹽干魚, 吳服太物
其他二ヶ所	122,885		137,319	吳服太物
合 計	2,250,042		2,076,511	

明治十年代の内國貿易(二) 山口

備考 「第四統計年鑑」263頁による。

明治12年岡山縣輸出入品表 (53表)

輸 出			入		
品 名	數 量	價 額	品 名	數 量	價 額
米	73,802 ^石	540,781 ^円	肥 類	不 詳	973,414 ^円
鹽	343,856 ^石 15,705 ^石	320,409	和 洋 吳 服	〃	673,088
實 綿	174,713 ^斤	20,614	和 洋 小 間 物	〃	223,021
綿 {	綠 綿	不 詳	石 炭	3,887,489 ^貫	137,179
	篠 綿	〃	糸 類	不 詳	116,295
	判 綿	1,052 ^貫	鹽 干 魚	〃	106,022
	古 綿	不 詳	砂 糖	〃	104,000
		240,116	陶 器	〃	84,775
木 綿 {	白 木 綿	253,690 ^反	紙 類	〃	50,300
	雲 齋	不 詳	石 油	18,156 ^圓	49,832
	小 倉 地	18,402 ^反	漆 器	不 詳	44,423
	小 倉 帶 地	38,620 ^圓	荒 物	〃	44,111
	眞 田 帶 地	55,396	材 木	〃	43,132
銅		124,536	屨 物	304,500 ^足	41,767
	不 詳	78,085	蠟	178,072 ^斤	35,977
		75,210	書 籍	不 詳	34,784
古 着 {	古 着	〃	干 物	〃	31,392
	古 織	〃	昆 布	〃	23,777
足 袋	527,685 ^足	54,335	藥 種	〃	17,098

辦	柄	不	詳	52,157	金	物	不	詳	13,901
	麥		石 9,054	50,335	藍	玉	〃		11,477
煙	刻煙草		斤 197,593	16,306	其	他			256,307
草	葉煙草	不	詳	33,026					
	炭		239,782 9,466	49,332 37,100					
	鐵	不	詳	34,999					
	銑		東 760	1,140					
	鋼	不	詳	141					
				36,280					
醬	油		石 7,440	30,385					
	茶		斤 71,000	24,588					
髮	付油		98,037 45	21,685					
編	笠		521,834	18,181					
蒟	弱玉	不	詳	11,644					
石	筆		本 3,073,225	10,998					
其	他			110,880					
合	計			1,873,297					3,007,782

備考 「西南諸港報告書」832-833頁, 837-848頁により作成す。

本表は純輸出入額について示したものである。

干 鰯 二八、〇四五 三、九二五
 鰯子粕 一五、四二九 五、一六
 鰯 粕 一、六八三 三八八
 肥料類につぐ重要輸入品は和洋吳服類で全輸入額の二二％に當る。和と洋との比率も全體としては明らかでないが、各港河岸場のみについてみると、和反物二二九、六九九圓、洋反物二二七、五四八圓でほぼ同額である。これらに次ぐ主要輸入品としては、小間物（七％）、石炭（四％）、糸類（三％八）、鹽干魚（三％五）、砂糖（三％四）などがあげられる。

「明治十六年岡山縣統計書」には、岡山河岸、西大寺港及び玉島港の輸出入額が掲載され、千圓以上の輸出入品があげてあるが、これによつても主要輸出入品は右と同様であつたことが知られる。

五四 國 區

德 島 縣

「西南諸港報告書」には德島縣として明治十三年津田港、明治十一年及び十三年撫養港の輸出入額が掲載されている。津田港は今日では德島市に、撫養港は鳴門市に包含されておるが、この當時はそれぞれ獨立の德島縣における重要港であつた。まずその輸出入額をみると第五四表のごとくである。

この兩港の輸出入額を以てかりに德島縣のそれとみなし、まず輸出品を整理してみると第五五表の如くである。

最大の輸出品は藍であつて、明治十三年には全輸出高の七四%を占めておる。因みに、同年阿波國における藍の生産高は藍玉一七八、九〇〇本、一、九六七、九〇〇圓、藍七六、六七〇俵、六一三、〇〇〇圓であるから（「西南諸港報告書」一五一—一六頁）藍生産高の殆んど大部分が輸出されていたとみてよい。藍に次ぐ輸出品は砂糖で全輸出額の一一%を占める（明治十三年）。明治十三年における阿波國の砂糖生産高四七、〇〇〇樽、四〇五、〇一〇圓である點からみて、砂糖も生産高の殆んど全部が輸出されたものとみられる。藍砂糖に次ぐのは煙草（四%七）、鹽（三%）、綿織物（四%）などであつた。

輸入品を整理すると第五六表のごとくである。

表記のように、最大の輸入品は米及び鯧粕で、前者は明治十三年において全輸入額の四六%を、後者は四〇%を占め、兩者で八六%に及んでおる。その外では麥（五%四）、菜種（三%）、唐糸（二%）等が主たるものであつた。なお、「德島縣統計書」にはこの種の調査はなく、「統計年鑑」にも德島縣の輸出入額は示されていない。

德島縣港別輸出入表 (54表)

港 名	明 治 1 1 年		同 1 2 年		同 1 3 年	
	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入
津 由	?	?	?	?	2,929,400	2,973,390
撫 澁	1,144,205	2,783,612	1,050,874	3,789,253	989,494	4,324,570
計	1,144,205	2,783,612	1,050,874	3,789,253	3,918,894	7,297,960

「西南諸港報告書」12-14頁，57-62頁により作成す。

德島縣輸出品表 (55表)

品 名	明 治 1 1 年		同 1 2 年		同 1 3 年	
藍 玉					?	2,250,000
藍	50,000	850,000	46,000	690,000	52,000	676,000
砂 糖	19,822	135,405	20,996	136,474	62,352	2,926,000
煙 草	8,000	38,800	9,000	45,000	31,900	502,334
鹽	800,000	120,000	780,000	179,400	630,000	185,660
染地木綿					194,000	108,800
絨 織					100,000	47,300
茶					143,000	156,100
計		1,144,205		1,050,874		3,918,894

「西南諸港報告書」12-14頁，57-62頁により作成す。

德島縣輸入品表 (56表)

品 名	明 治 1 1 年		同 1 2 年		同 1 3 年	
米	153,617	1,149,079	134,219	1,474,654	339,428	3,331,319
糠 粕	7,280,000	1,164,800	9,100,000	1,638,000	10,920,000	3,015,060
裸 麥	48,238	185,975	56,379	338,273	39,268	274,875
小 麥	13,162	56,266	12,363	86,539	16,874	126,553

菜	種	石	242,241	石	424,812	石	401,428
唐	禾	20,803	145,150	16,723	117,061	27,811	222,487
大	豆	—	—	—	—	1,050	135,000
小	豆	3,170	15,851	4,218	27,422	4,090	32,719
雜	穀	2,906	16,523	2,670	18,690	3,079	27,709
胴	鍊	14,490	46,368	16,786	83,934	19,978	119,868
鍊	鯨	30,000	3,600	36,000	4,680	36,000	5,040
鰯	鮭	—	—	—	—	400	3,600
鰯	鮭	—	—	—	—	350	2,730
合	計		2,783,612		3,789,253		7,297,960

〔西南諸港報告書〕 12-14頁，57-62頁により作成す。

愛媛縣
(香川縣を
ふくむ)

「西南諸港報告書」には愛媛縣としては阪出・丸龜・多度津・和田濱・栗島の各港輸出入額が掲載されておる。

これらの諸港はいづれも今日では香川縣に屬してゐるが、當時は香川縣は縣として獨立せず、愛媛縣に包含されていたのである。なお、この地方の重要港の一つである高松港は北海道への輸出入のみが揭示され、全體の輸出入額を欠いてゐるので、阪出・丸龜・多度津・和田濱・栗島五港の輸出入額を示すと第五七表の如くである。

この表には高松港及び今日の愛媛縣に屬する港の輸出入についての記載がないが「第二統計年鑑」及び「第四統計年鑑」にはこれらを含んだのである。それを示すと第五八表の如くである。

次に輸出入品であるが、まず「西南諸港報告書」により前記五港の純輸出額を品目別に整理合算し、それをかりに愛媛縣の輸出品としてみると第五九表の如くである。

明治十一年及び十三年は阪出港の輸出入額を欠くので、比較的完全な明治十二年についてみると、最大の輸出品は砂糖で全輸出額の四七％を占めてゐる。これに次ぐのは鹽（一八％）、米（一二％）、綿（八％）

愛媛縣港別輸出入表 (57表)

港 名	明 治 1 1 年		同 1 2 年		同 1 3 年	
	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入
阪 出	?	?	1,004,343	403,697	?	?
丸 龜	128,395 (120,468)	119,153 (111,226)	135,286 (126,012)	138,499 (129,225)	164,221 (141,808)	189,458 (167,045)
多 度 津	136,385 (136,209)	39,851 (39,675)	158,295 (157,410)	54,972 (54,087)	701,973 (694,103)	200,714 (192,844)
和 田 濱	62,560	60,171	60,061	44,195	29,721	40,778
粟 島	48,310 (3,300)	84,285 (41,425)	38,250 (1,700)	66,800 (31,710)	45,711 (2,449)	81,285 (38,970)
合 計	375,650 (322,537)	303,460 (252,497)	1,396,235 (1,349,526)	708,164 (662,915)	941,626 (868,081)	512,235 (439,637)

備考 カッコ内の數字は純粹の輸出入額である。

「西南諸港報告書」90-91頁, 104-158頁, 175-190頁, 202-206頁, 213-220頁により作成す。

愛媛縣港別輸出入表 (58表)

港 名	明 治 1 3 年		同 1 6 年	
	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入
今 治	1,061,996	1,123,892	292,488	310,450
丸 龜	345,512	179,037	73,356	251,981
宇 和 島	207,878	293,393	13,430	225,106
志 度	159,998	96,309	193,296	29,750
三 津	22,541	111,344	467,155	274,271
長 濱	358,597	59,102	448,873	82,426
阪 出	293,120	172,266	441,399	304,332
多 度 津	366,116	133,423	185,075	171,993
新 居 濱	195,378	96,368		
堀 江	57,330	139,570		
東 濱	149,224	118,355		
高 松	160,273	193,872	424,691	511,606
川 ノ 石	170,013	120,882	201,709	205,764
八 幡 濱	731,639	1,075,752	576,671	725,883
西 條			143,356	53,322
郡 中			100,182	32,838
其 他 17ヶ所	530,564	322,244		

其 他 2 ケ 所			142,448	68,063
合 計	4,750,179	4,235,809	3,704,129	3,247,875

備考 「第二統計年鑑」204-205頁、「第四統計年鑑」264-265頁による。
空欄は記載なきもの。

愛媛縣輸出品表 (59表)

品 名	明 治 1 1 年		同 1 2 年		同 1 3 年	
砂 糖	40,540 ^匁 185,400 ^斤	55,598 ^円	44,744 ^匁 226,980 ^斤	631,282 ^円	456 ^匁 234,837 ^斤	71,349 ^円
鹽	? 石	?	444,015 ^匁 21,948 ^石	250,113	? 石	?
米	7,168	51,166	167,239	72,810	66,825	
篠 卷	8,124 ^丸 29,230 ^匁	65,302	8,945 ^丸 19,725 ^匁	55,487	12,104 ^丸 24,515 ^匁	57,892
繰 綿	2,610	9,706	2,382	9,877	5,561	37,526
實 綿	1,513 ^本	9,126	83,632 ^匁 315 ^本	48,274	13 ^本 6,676 ^匁	3,410
座 綿	83 ^丸 170 ^匁	632	72 ^丸	162	529 ^丸	1,260
		84,822		113,900		100,088
小倉織木綿	150 ^丸	24,000	1,270 ^丸	32,500	4,699 ^丸	339,800
古 手	382 ^箱	3,056	2,318 ^箱	70,239	4,219 ^箱	145,398
足 袋	600	64,000	1,120	32,000	2,106	61,300
其 他		39,895		52,253		156,866
合 計		322,537		1,349,526		941,626

「西南諸港報告書」90-91頁, 104-158頁, 175-190頁, 202-206頁, 213-220頁により作成す。

愛媛縣輸入品表 (60表)

品 名	明 治 1 1 年		同 1 2 年		同 1 3 年	
鯨 粕	1,682 ^俵 5,000 ^本 160,227 ^匁	113,260 ^円	19,156 ^俵 3,500 ^本 119,197 ^匁	231,534 ^円	2,085 ^俵 4,000 ^本 260,643 ^匁	134,874 ^円
酒	8,705 ^匁 320 ^石	26,154	14,009 ^匁 439 ^石	80,114	11,844 ^匁 529 ^石	52,460

醬	油	388石	13,695	398石	15,807	424石	10,880
石	炭	9,858俵	394	5,571,255斤 2,600俵	60,938	14,991俵	1,373
	糠	300石	72	24,000俵 84石	48,117	9,157俵 960石	7,897
煙	草	?	2,425	?	41,498	—	—
石	油	1,356箱	3,665	7,282箱	24,972	2,226箱	7,564
	薪	109,251石 230,450俵	9,357	1,086,900斤 18,458石	22,942	704,140斤 117,407石	18,270
大	豆	—	—	1,894石 2,084俵	18,129	?	3,942
	炭	24,347俵 9,600俵	6,033	25,172俵 54,600俵	9,506	25,467俵 22,737俵	8,502
其	他		77,442		109,358		193,875
合	計		252,497		662,915		439,637

備考 出典は59表と同様である。

古手(五%)、綿織物(二%四)等であつた。

次に輸入品を整理してみると第六〇表のごとくである。

輸入品の品目は頗る多く、丸龜港の如きはその種類百二十種乃至百五十種に及ぶが、そのうち重要なものを示すと前表の如くなる。やはり比較的完全な明治十二年をとつてみると、最大の輸入品は鰯粕で全輸入額の三五%を占め、これに次ぐのは酒(一二%)、石炭(九%)、糠(七%)、煙草(六%)、石油(三%七)、薪(三%四)などであつた。

ところで、右は今の香川縣に屬する港のみの状態であるが、「明治十六年愛媛縣統計書」には同年の高松・阪出・丸龜・三津・八幡濱・宇和島六港について千圓以上の輸出入品が掲載されているので、それを整理してみると第六一表の如くである。

表記のように、主要輸出品は雜魚、米、砂糖、紙、鹽であり主要輸入品は呉服太物、綿糸、石油、肥類(鰯粕類)、清酒、大豆、材木、洋反物などであつた。

以上によつてみるに、愛媛縣(今の香川縣)における主要輸出品は砂糖、米、魚類、鹽などであり、主要輸入品は呉服太物、鰯粕、酒などであつたと言えよう。

明治16年愛媛縣輸出品表 (61表)

品名	輸出	輸入	差引
米	79,230 ^石	337,597 ^円	15,878 ^石
砂	785,524 ^貫	132,831 ^貫	53,993 ^貫
糖	211,763 ^石	?	42,272 ^石
鹽	?	?	?
紙	?	116,408 ^石	10,416 ^石
小麥	12,768 ^石	5,546 ^石	21,761 ^石
雜魚	?	—	?
肥料	?	?	123,198 ^石
清酒	2,425 ^石	20,293 ^石	81,881 ^石
大豆	3,330 ^石	18,167 ^石	80,040 ^石
吳服太物	?	?	240,122 ^石
洋反物	?	?	46,422 ^石
木綿糸	15,011 ^貫	66,569 ^貫	106,707 ^貫
綿	?	?	22,184 ^貫
煙草	15,919 ^貫	46,731 ^貫	33,353 ^貫
石油	?	?	70,055 ^貫
材木	?	?	58,284 ^貫
其他			704,757 ^貫
合計	1,934,175	1,776,458	+1,292,959 -1,126,042

明治十年代の内國貿易(二) 山口

備考 「明治十六年愛媛縣統計書」により作成す。

高知縣

高知縣については「西南諸港報告書」「高知縣統計書」、第二及び第四「統計年鑑」のいづれにも港灣輸出入額を欠くので、詳細は明らかでない。

六近畿區

兵庫縣

「西南諸港報告書」には明治十一年—十四年の飾磨港輸出入額(八〇一頁)、明治十一年—十三年の兵庫港北海道輸出入表(九一六頁)、明治十三年兵庫縣米麥輸出入表(九二六頁)、明治十三年兵庫縣著名物產表(九三〇頁)、明治十三年兵庫港肥料出入及取扱人名表(九三四頁)などが、又「二府采覽報文」には明治十一年—十二年兵庫肥料出入並取扱人名概表(三三二—三三四頁)

がそれぞれ掲載されておるが、兵庫縣各港の輸出入額は掲載されていない。そこでまず「兵庫縣統計書」によつて、この關係をみることにする。

明治十七年「兵庫縣統計書」には明治十五年、十六年、十七年における神戸、兵庫、西宮、尼崎、高砂、飾磨、網干、津居山、洲本九港の輸出入額が掲載されておるが、いづれの年度においても輸出入品中その價額の欠除せるものが相當ある。そこでこゝでは明治十六年を基準にとり、同年の數字が欠落している場合は十七年を、十七年も欠落している時は十五年の數字で補ひ、以て明治十六年を基準とする兵庫縣下諸港の輸出入額を算出した。即ち第六二表のごとくである。

表記の如く、兵庫港の地位が壓倒的であるが、同港は又有數の仲立港であつた。

次に、右九港の合計輸出入額を兵庫縣全體のそれとみなして輸出入品を整理してみると第六三表の如くである。

輸出入を通じて最大の取引のあつたのは米で、輸出にあつては全輸出額の六五%、輸入にあつては五二%をしめておる。ところで、右表によると米はほとんど再輸出され、差引三十五萬圓餘の出超となつておるが、これは明治十六年の特殊事情によるか、或は數字の不備と考えられるのであつて、兵庫縣は當時は米の輸入縣であつたようである。

この點について「西南諸港報告書」をみると、同書には明治十三年の米輸出入表が載つておるので、それを示すと第六四表のごとくである。

この表にみるように、播磨國の諸港はいづれも米の輸出港であるが、攝津の諸港殊に兵庫港の米輸入高が巨額に達するので、兵庫縣全體としても輸入超過となつてゐる。なお、「西南諸港報告書」兵庫港の部には「明治十一年ヨリ十三年マデ滿三ヶ年ノ平均ニ據レハ、米ノ輸入ハ毎一年九十一萬餘石ニシテ、輸出ハ七十三萬餘石ナリ」(九二頁)とあり、これによると六四表の三百五萬石の輸入はすこし巨額に失するようである。

兵庫縣港別輸出入表（明治16年を基準とす）（62表）

港 名	輸 出 額	輸 入 額	純輸出額	純輸入額
神 戸	179,550 ^円	519,832 ^円	— ^円	240,252 ^円
兵 庫	5,099,448	5,825,263	—	725,815
西 宮	432,116	239,397	949,546	155,827
尼 崎	334,782	938,598	95,270	699,086
高 砂	584,290	740,375	420,101	576,186
飾 磨	768,000	786,000	751,000	769,000
網 干	645,161	100,230	645,161	100,230
津 居 山	71,050	243,920	15,000	187,870
洲 本	185,310	246,618	92,060	158,368
計	8,299,707	9,640,203	2,368,138 (1,420,587)	3,613,634 (2,771,079)

明治十年代の内國貿易(二) 山口

備考 カッコ内の數字は各港間の再輸出額を控除した 兵庫縣としての純輸出入額。
明治17年「兵庫縣統計書」15頁以下により作成す。

兵庫縣輸出入品表（明治16年を基準とす）（63表）

品 名	輸 出 額	輸 入 額	差 引 額
米	5,364,651 ^円	5,013,197 ^円	+ 351,454 ^円
麥	51,200	17,000	+ 34,200
小 麥	49,500	—	+ 49,500
裸 麥	10,000	—	+ 10,000
小 麥 粉	12,000	—	+ 12,000
大 豆	—	51,168	— 51,168
鹽	34,016	82,486	— 48,470
砂 糖	24,416	226,148	— 201,732
醬 油	86,330	10,984	+ 65,350
酒	507,309	323,548	+ 183,761
煙 草	50,180	55,200	— 5,020
生 魚	—	442,750	— 442,750
干 鹽 魚	—	30,000	— 30,000
昆 布	—	27,000	— 27,000
鯉 節	—	13,000	— 13,000
素 麵	47,531	—	+ 47,531

凍	豆	腐	12,000	12,000	+	12,000
	綿	糸	120,196	50,876	+	69,320
洋	綿	糸	17,130	25,532	-	8,402
木		綿	90,000	121,992	-	31,992
吳		服	79,832	347,637	-	267,805
太		物	18,508	21,907	-	3,399
絹		布	—	20,000	-	20,000
洋	反	物	—	25,000	-	25,000
	苧		24,000	—	+	24,000
藍		玉	52,165	285,000	-	232,835
菜		種	10,000	38,000	-	28,000
綿		貨	—	15,000	-	15,000
種		油	—	40,271	-	40,271
	蠟		—	11,287	-	11,287
石		油	—	72,800	-	72,800
	薪		34,660	130,807	-	96,147
	炭		11,000	33,504	-	22,504
石		炭	—	30,000	-	30,000
材		木	20,000	56,486	-	36,486
	板		138,000	21,529	+	116,471
	竹		18,480	27,000	-	8,520
	石		—	11,962	-	11,962
	瓦		—	12,530	-	12,530
赤		瓦	—	15,421	-	15,421
壘		表	—	17,000	-	17,000
	紙		—	151,500	-	151,500
鐵		類	—	13,000	-	13,000
	樽		15,000	—	+	15,000
牛		皮	400,000	—	+	400,000
	粗		—	410,000	-	410,000
羽		鯨	35,059	40,758	-	5,699
鯨		鮪	919,773	1,065,580	-	145,807
干		鮪	—	107,777	-	107,777
／		鮪	16,771	29,566	-	12,795
油		鮪	15,000	—	+	15,000

肥 物	円	円	円
	—	98,000	— 98,000
計	8,299,707	9,640,203	+ 1,420,587 — 2,771,079

備考 輸出入數量は不明のものが大部分であるので省略す。
明治17年「兵庫縣統計書」316頁以下により作成す。

明治13年兵庫縣米輸出入表 (64表)

國名	港 名	輸 出			輸 入		
		管 内	管 外	計	管 内	管 外	計
播磨	明 石	30,000	25,000	55,000	—	5,000	5,000
	二 見	500	500	1,000	—	—	—
	別 府	1,067	613	1,680	—	—	—
	高 砂	100,400	29,600	130,000	—	—	—
	飾 磨 津	7,000	7,000	14,000	—	—	—
	新 在 家	102,000	68,000	170,000	—	—	—
	岩 見	500	500	1,000	—	—	—
	那 波	1,500	1,500	3,000	—	—	—
	坂 越	920	1,380	2,300	—	—	—
	加 里 屋	—	—	—	1,000	2,500	3,500
攝津	兵 庫	200,000	495,000	695,000	?	?	3,050,000
	尼 ケ 崎	77,000	—	77,000	76,500	—	76,500
	西 宮	—	30,000	30,000	127,000	23,000	150,000
	御 影	—	45,000	45,000	39,760	89,765	129,525
	魚 崎	—	—	—	18,000	11,800	29,800
但馬	津 居 山	—	—	—	—	8,000	8,000
	諸 崎	—	—	—	—	800	800
淡路	洲 本	30,000	40,000	70,000	—	—	—
	福 良	20,000	30,000	50,000	—	—	—
合 計		570,887	774,093	1,344,980	—	—	3,453,125

備考 「西南諸港報告書」924-926頁による。

さて、再び六十三表にかえつて、米に次いで取引の盛んだつたものをみると、鰯粕・干鰯・羽鰯・鰯粕等の魚肥類であつて、その輸入額一、二四三、六八一圓で全輸入額の一三%弱に當る。しかしこの中九七一、六〇三圓が輸出されておるので、純輸入額は二七二、〇七八圓である。なお、参考までに「西南諸港報告書」によつて明治十三年兵庫港肥料出入及取扱人名表を示すと第六五表のごとくである。

これらに次いで酒も重要な輸出入品であつた。第六三表によれば、酒は輸出五十万七千圓餘、輸入三十二万三千圓餘で、差引十八万三千圓餘の輸出超過となつている。酒は主として攝津國で產出され、同じ兵庫縣でも他の諸國は輸入地であつた。「西南諸港報告書」掲載の明治十三年「兵庫縣著名物產表」によれば、酒の產出高の示されているのは攝津國のみで、同國の酒產出高二一三、八四六石、一、一九六、七五二圓で「賣路」として「東京、西京、大阪」と記されておる（九二）（六頁）。

以上の外、重要な輸出入品をみると、輸出品としては牛皮・板・綿・醬油・小麥・素麵など、輸入品としては鰯・生魚・吳服・藍玉・砂糖などがあげられる。

大 阪 府

「西南諸港報告書」にも「四縣府采覽報文」にも北海道から大阪に輸入された肥料類については詳細な記載があるが全體の輸出入に關する數字はない。そこで、明治十七年「大阪府統計書」によつて主要港灣の輸出入の狀態をみると第六十六表の如くである。

大阪河岸とあるのは大阪港をさすと思うが、表記の如く、その地位はきわめて大きく、これに次ぐのは堺港であつた。

右の諸港の合計輸出入額を假に大阪府全體の輸出入額とみなして主要輸出入品を整理してみると第六十七表のごと

兵庫港肥料出入及取扱人名表 (65表)

輸 入 高			再 輸 出			取 扱 人 名 及 石 數		
品 名	石 數		地 名	石 數		人 名	石 數	
鯨 粕	89,000	石	播 州	25,000	石	北風 莊右工門	33,400	石
鰯 粕	5,000		淡 州	15,000		岩 田 正 吉	34,300	
鯨 白 子	300		阿 州	10,000		澤 田 清兵衛	5,200	
胴 鯨	20,000		紀 州	4,000		喜 多 伊兵衛	12,300	
不 撰 子	500		泉 州	5,000		木下 長右衛門	9,400	
昆 布 類	15,000		江 州	6,000		山 本 彌兵衛	18,350	
撰數ノ子	700		尾 州 } 勢 州 }	25,000		柏 木 庄兵衛	1,300	
鯨	1,500		備 前 } 備 中 } 備 後 }	5,000		魚澄 惣左衛門	9,800	
棒 鱈	500		伊 賀	1,000		太田 一郎兵衛	3,000	
身 欠 鯨	2,000		地 方	24,000		秋 野 宋兵衛	2,200	
關東干鰯	5,000					直 木 久兵衛	2,150	
津 輕 鯨	4,000					根 津 六兵衛	3,000	
秋 田 鰯	1,000					綱 盛 彌兵衛	1,900	
宇和鰯 } 佐伯鰯 }	10,000					藤 本 安兵衛	7,700	
						小間屋 貳拾軒	11,000	
合 計	155,000			120,000			155,000	

輸出入差引殘 35,000石

内 譯 20,000石 鯨 粕

5,000石 胴 鯨

10,000石 撰子, 鯨白子 昆布, 宇和佐伯關東干鰯

備考 「西南諸港報告書」932-934頁による。

明治17年大阪府港別輸出入額表 (66表)

港 名	輸 出 額	輸 入 額	純 輸 出 額	純 輸 入 額
大 阪 河 岸	10,522,680	14,783,079	2,790,616	7,068,599
堺	2,484,193	2,119,949	1,220,738	866,894
岸 和 田	118,984	167,352	107,464	155,832
貝 塚	93,338	110,366	76,084	93,112
佐 野	10,430	—	10,430	—

明治十年代の内國貿易(二) 山口

尾	崎	16,027 ^円	14,600 ^円	16,027 ^円	14,600 ^円
計		13,245,652	17,200,346	4,221,359	8,199,037

備考 明治17年「大阪府統計書」による。

明治17年大阪府品別輸出入表 (67表)

品名	輸出	輸入	差引
米	27,605 ^石 134,561 ^円	438,115 ^石 2,088,035 ^円	410,510 ^石 -1,953,474 ^円
小麥	—	22,005	91,570 - 22,005 - 91,570
大豆	—	165,240	116,860 - 165,240 - 116,860
小豆	—	8,455	50,573 - 8,455 - 50,573
食鹽	189,017	93,137	339,444 117,282 - 150,427 - 24,145
醬油	43,856	77,670	34,945 205,674 ? - 128,004
清酒	1,093,863 ^貫	750,218	36,349 431,348 + 1,062,514 + 318,870
茶	1,732,003 ^貫	390,614	1,512,973 441,879 + 219,030 - 51,265
白砂糖	719,247	980,332	409,660 326,763 + 309,587 + 653,569
赤砂糖	1,427,175	289,830	2,274,828 585,598 - 847,653 - 295,763
砂糖	92,200	141,940	10,494 33,733 + 88,706 + 103,207
鯉節	88,262	97,704	217,872 151,835 - 129,610 - 54,131
葉煙草	60,620	41,695	192,062 78,708 - 138,442 - 37,013
刻煙草	88,262	97,704	712,900 266,393 - 624,638 - 168,689
吳服	140,066 ^反	186,174	61,048 ^反 163,606 + 79,018 + 22,568
太物	1,736,217	564,114	2,461,917 636,036 - 725,700 - 71,922
麻布	31,964	20,830	38,367 11,417 - 6,403 + 9,413
生金巾	27,590	124,538	— — + 27,590 + 124,538
染金巾	24,725	47,547	14,400 19,482 + 10,325 + 28,065
綿緇子	8,385	25,977	— — + 8,385 + 25,977
縮緇吳呂	650,621 ^匁	328,549	70,500 ^匁 236,520 + 580,121 + 92,029
絹吳呂	22,291	17,454	20,000 11,300 + 2,291 + 6,154
毛緇子	92,913 ^貫	73,029	6,300 ^貫 45,770 + 86,613 + 66,729
生糸	12,444	14,001	84,638 ^貫 19,510 - 72,244 - 5,510
木綿糸	1,063,286 ^貫 16,100 ^匁	1,366,281	2,052,558 ^貫 1,593,467 - 939,272 ^貫 + 16,100 ^匁 - 227,186
緑綿	530,819 ^貫 177,721 ^匁	873,779	480,502 ^貫 145,036 ^匁 686,502 - 50,317 ^貫 + 32,685 ^匁 + 187,277

麻	苧	61,386 ^實	71,394 ^円	112,535 ^實	133,292 ^円	-	51,149 ^實	-	61,898 ^円
藍	玉	366,996	149,496	418,291	917,638	-	268,795	-	499,347
材	木	101,865 ^本 634,661 ^枚	709,139	455,444 ^本 1,934,336 ^枚	923,156	-	353,579 ^本 1,299,645 ^枚	-	214,017
丁	銅	102,939	82,664	205,031	138,304	-	102,092	-	55,640
荒	銅	22,234	29,269	431,250	929,927	-	409,016	-	930,658
熟	鐵	1,461,253 ^{203東}	223,975	1,823,096	155,169	-	?	+	68,806
鐵	塊	80,297 ^圓	28,878	273,175	68,497	-	192,878	-	39,619
鐵	釘	419,067	81,980	62,184	29,471	+	356,883	+	52,509
疊	表	748,657 ^枚	52,644	1,834,077 ^枚	158,667	-	1,085,420 ^枚	-	106,023
水	油	15,230 ^石	229,177	?	123,743	-	?	+	105,434
石	油	497,606 ^圓	1,023,533	755,197 ^圓	1,455,468	-	257,591 ^圓	-	431,935
薪		1,104,657 ^實	241,375	14,315,872 ^實	666,246	-	13,211,215 ^實	-	424,471
炭		?	121,725	?	440,465	-	?	-	310,730
紙		899,403 ^實	319,508	5,347,886 ^實	638,822	-	4,454,483 ^實	-	319,314
肥	料	3,216,476	568,586	3,601,711	531,049	-	385,235	+	37,537
鹽魚	干魚	84,353 ^本 1,545,500 ^枚 215,047 ^實	171,355	5,800 ^本 52 ^石 234,611 ^實	222,742	-	?	-	51,387
生	魚	147,714 ^尾 3,116 ^實	88,328	5,941,350 ^尾 1,133 ^實	304,239	-	?	-	215,911
漆(生製)		26,287	222,975	-	-	+	26,287	+	222,975
其	他		2,092,033		953,630	-		-	1,138,403
合	計		13,245,652		17,200,346				+3,269,060 -6,907,060

備考 明治17年「大阪府統計書」により作成す。

くである。

これによつても明らかのように、各種の商品が輸出入されておるが、最大の取引品は米で、差引四十一万石、百九十五万圓の輸入超過である。これは純輸入額の二八%三にあたる。砂糖は白砂糖が出超、赤砂糖が入超で、總價額に於ては純輸出額の一四%二にあたる四十六万六千圓餘の出超となつておる。大阪はもちろん砂糖の産地でないの、輸出の白砂糖は黒糖を大阪で精製の上輸出したものか、又は外國からの輸入糖であつたと思ふ。

繰綿・綿糸も重要な輸出入品であつた。繰綿は西南諸國から

輸入されたものが殆んど再輸出されたし、更にそれに大阪近在の産綿が加わつて全體としては純輸出額の六%弱に相當する十八万七千圓の出超である。これに反し綿糸差引二十二万七千圓、純輸入額の三%の入超となつておる。

肥料は右表によると輸入三百六十万貫餘、輸出三百二十一万貫餘で、差引三十八万貫餘の入超となつておるが、價額においては逆に三万圓餘の出超である。いづれにせよ、輸入肥料の大部分が輸出され、しかもその大部分が魚肥であつたと考えられる。「西南諸港報告書」によると、明治十二年九月より同十三年八月に至る一ケ年に北海道から大阪に入つた魚肥は合計二十三万五千石、二百五十六万圓餘に及び、その大部分が再輸出されたのであつて、詳細は次の通りである。

(輸入數量)		(輸入代價)	
鯛	鯨	八五、〇〇〇石	九二四、八〇〇圓
鯨	粕	一三五、〇〇〇	一、五二九、二八〇
鯨	粕	二、五〇〇	三〇、七六〇
鯨	白子	八、〇〇〇	七九、一五二
計		二三〇、五〇〇	二、五六三、九九二

右再輸出狀況

(地名)	(品名)	(數量)
紀伊	鯨粕	五、〇〇〇石
和泉	鯨粕・鯨粕	八、〇〇〇
伊勢・尾張	〃	五〇、〇〇〇

明治十年代の内國貿易(二) 山口

伊賀・近江	鯛鯨・鯨白子・鯨ノ粕	六五、〇〇〇
阿波	鯨ノ粕	二三、〇〇〇
讃岐	〃	九、〇〇〇
大阪近在	鯨ノ粕・鯛鯨	四五、五〇〇
播磨	鯨ノ粕・鯨白子	一〇、〇〇〇
丹波・丹後	鯛鯨	三、〇〇〇

計

二一八、五〇〇

(「西南諸港報告書」九三
七頁、九三九—九四〇頁)

以上の外の主要輸出入品をみるに、輸入品としては荒銅(一三%)、藍玉(七%)、石油(六%)、薪(六%)、炭(四%)、紙(四%)、生魚(三%)、材木(三%)、煙草(三%)などが、輸出品としては酒(九%)、漆(七%)、金巾(五%)、水油(三%)などが主なものであつた(%)は純輸出入額に對するもの。

京都府

明治十年代の「京都府統計書」にはこの種の調査が欠除しておるので、「第二統計年鑑」により明治十三年の京都府諸港の輸出入をみると第六八表の如くである。

輸出入品の詳細は明らかでない。たゞ「二府四縣采覽報文」には宮津港のみの輸出入高が記されておるので、それを見ると、輸出額三九、二九三圓、輸入額二五六、一六七圓であるが、輸出の大部分は再輸出で、純粹の輸出額はわずか五四〇圓にすぎない。また、再輸出額を控除した純粹の輸入額は二一七、四一四圓、その内譯は第六九表のごとくで、主要輸入品は米・鹽・砂糖などであつた。

明治13年京都府港別輸出入表 (68表)

港 灣 河 岸	輸 出 額	主要輸出品	輸 入 額	主要輸入品
宮 津 港	11,754 ^円		254,374 ^円	
間 人 港	9,715		822,409	
松 原 濱	89,615	酒、油 茶、醬油	291,383	煙草、石油、炭 茶、醬油、酒
北 濱	246,951		246,951	
三 條 濱	121,355		447,428	
四 條 濱	792,762		60,636	
上ノ口 濱	254,669		12,765	
堀 詰 濱	100,872		227,446	
宇治川筋西濱	1,184,522		864,351	
嵯 峨 濱	148,956		170,732	
下 嵯 峨 濱	121,310		168,770	
宮ノ前 濱	231,795		134,359	
下 船 濱	2,231,975		23,350	
上ヶ崎河岸	91,938		139,883	
其他59ヶ所	1,177,716		890,555	
合 計	6,930,108		4,869,595	

備考 「第二統計年鑑」195-197頁により作成す。

明治11年宮津港輸入表 (69表)

品 名	輸 入 數 量	輸 入 額
米	11,460 ^石	54,880 ^円
鹽	35,620	43,095
白 糖	2,750 ^匁	20,826
砂 糖	1,450	10,033
菜 種	2,890 ^石	30,859
大 豆	2,420	21,960
種 油	433	12,250
		11,480
鐵 錠	1,200 ^駄	7,800
	540	1,757
其 他		9,557
		42,480

備考 「二府四縣采覽報文」278-281頁により作成す。

和歌山縣

明治十六年「和歌山縣統計書」には、和歌山・大崎二港の輸出入額が掲載されておるのでまずそれを示すと第七〇表のごとくである。

やはり右二港の輸出入額を以てかりに和歌山縣全體のそれとみなし、輸出入品を整理してみると第七一表の如くである。

全體として著しい輸入超過であるが、比較的に少ない輸出品の中主要なものをひろいあげてみると、フランネル(四五%)、棕梠皮(八%)密柑(七%)、紋羽(六%)など。主要輸入品は材木(三四%)、米(二六%)、蠟燭(一二%)などであるが、材木は縣内輸入が多かつたのではあるまいか。

七 東 海 區

東海區の諸港については開拓使の報告書はな

明治16年和歌山縣港別輸出入表(70表)

港 名	輸 出 額	輸 入 額	純 輸 出 額	純 輸 入 額
和 歌 山	853,784	1,237,403	136,480	720,099
大 崎	219,650	292,400	72,075	144,825
計	1,073,434	1,529,803	208,555 (193,743)	864,924 (650,107)

- 備考 (1) 和歌山港では木綿輸出額及樽丸の輸出入額が明治16年の分が不明であるので、15年の分を以て補つた。
 (2) 大崎港では漆器の輸出額が不明のため、これも15年の分を以て補つた。
 (3) カツコ内の數字は各港間の輸出入を相殺した純輸出入額である。
 (4) 明治16年「和歌山縣統計書」133-136頁により作成す。

明治16年和歌山縣輸出入品表(71表)

品 名	輸 出	輸 入	差 引
米	6,100 ^石 36,575 ^円	34,520 ^石 210,469 ^円	28,420 ^石 173,894 ^円
豆	—	1,620 ^斤	1,620 ^斤 10,868
砂糖	—	126,476 ^斤	126,476 ^斤 13,320
煙草	—	110,193 ^斤	110,193 ^斤 11,739
生魚	—	85,395 ^斤	85,395 ^斤 13,411

干	魚	—	—	4,000	26,000	—	4,000	—	26,000
密	柑	45,000 ^箱	13,000	—	—	+	45,000	+	13,000
	綿	—	—	165,834 ^斤	25,396	—	165,834	—	25,396
木	糸	93,101 ^斤	12,580	—	—	+	93,101	+	12,580
洋	糸	—	—	10,809 ^斤	25,642	—	10,809	—	25,642
木	綿	14,387 ^反	10,691	15,830 ^反	11,239	—	1,443 ^反	—	548
紋	羽	21,133 ^疋	12,595	—	—	+	21,133	+	12,595
フ	ランネル	28,020 ^疋	88,792	—	—	+	28,020	+	88,792
材	木	1,710,995 ^枚	679,657	2,355,215 ^枚	903,228	—	644,220 ^枚	—	223,571
棕	皮	10,000,000 ^丸	15,000	—	—	+	10,000,000	+	15,000
樟	丸	24,769 ^俵	26,956	24,894 ^俵	27,073	—	125 ^丸	—	117
	炭	69,500 ^斤	18,075	92,130 ^斤	14,812	—	—	+	3,263
蠟	燭	636,000 ^個	72,600	355,000	150,200	—	—	—	77,600
漆	器	9,000 ^個	13,500	—	—	+	9,000	+	13,500
	革	—	—	22,590 ^斤	10,739	—	22,590	—	10,739
	靴	15,790 ^足	22,513	—	—	+	15,790	+	22,513
	傘	18,000 ^本	22,900	7,000 ^本	10,400	+	11,000 ^本	+	12,500
干	鱈	125,000 ^貫	28,000	387,021 ^貫	65,267	—	262,021 ^貫	—	37,262
計			1,073,434		1,529,803			—	650,107 ⁺ 193,743

備考 (1) 和歌山港では木綿輸出額及び樟丸の輸出入額が明治16年の分が不明であるので15年の分を以て補つた。

(2) 大崎港では漆器の輸出額が不明のためこれも15年の分を以て補つた。

(3) 明治16年「和歌山縣統計書」133-136頁により作成す。

い。故に専ら府縣統計書によつてみることをする。

愛知縣

明治十六年「愛知縣統計書」には半田・龜崎・大濱・平坂・豊橋の諸港と納屋河岸場との輸出入額が掲載されておる。但し各港とも一万圓以上の輸出入品に限つておるが、大體のことは明らかと思う。まずそれを示すと第七二表のごとくである。

右六港の合計輸出入額をやはり愛知縣全體のそれとみて、輸出入品を整理合算してみると第七三表のごとくである。

最大の輸出品は木綿、つゞいて酒陶器であつた。木綿には白木綿及び縞木綿が含まれるが、殊に白木綿が多かつた。その純輸出額は全體の二

明治16年愛知縣港別輸出入表 (72表)

港 名	輸 出 額	輸 入 額
半 田	615,573 (310,424)	627,847 (322,698)
龜 崎	414,020 (169,895)	400,179 (156,054)
大 濱	773,189 (665,627)	327,522 (209,849)
平 坂	119,700 (93,140)	181,308 (155,348)
豊 橋	53,152 (53,152)	177,629 (177,629)
納 屋 河 岸	1,314,614 (1,034,398)	3,099,087 (2,818,991)
計	3,290,248 (2,326,636)	4,813,572 (3,840,569)

明治十年代の内國貿易(二) 山口

備考 カッコ内の數字は再輸出額を控除した純輸出入額。

明治17年「愛知縣統計書」商業の部1-5丁による

明治16年愛知縣輸出入品表 (73表)

品 名	輸 出	輸 入	差 引
米	28,870 ^石 158,224 ^円	81,158 ^石 445,261 ^円	- 52,288 ^石 - 287,037 ^円
大 麥	10,714 44,224	- -	+ 10,714 + 44,224
小 麥	7,118 25,295	7,656 26,307	- 544 - 1,012
大 豆	22,041 118,886	42,882 216,923	- 20,841 - 98,037
菜 種	- -	16,550 97,666	- 16,550 - 97,666
醬 油	? 54,508	? 15,521	? + 38,987
酢	18,326 56,857	- -	+ 18,326 + 56,857
味 噌	? 38,470	- -	? + 38,470
鹽	- -	53,729 62,528	- 53,729 - 62,258
砂糖(和洋)	288,558 ^貫 119,795 ^石	1,903,692 ^貫 447,236 ^石	- 1,615,134 ^貫 - 327,441 ^石
酒	31,738 ^貫 350,142 ^石	7,202 ^貫 18,773 ^石	+ 24,536 ^貫 + 331,369 ^石
茶	568 17,890	- -	+ 568 + 17,890
葉 煙 草	28,053 10,643	- -	+ 28,053 + 10,643
鯉 節	- -	87,612 110,981	- 87,612 - 110,981
鹽 魚	- -	553,673 46,401	- 553,673 - 46,401

干	魚	貴	円	貴	円	貴	円
藥	種	—	—	336,442	—	42,476	—
生	蠟	?	38,102	?	29,305	?	+
水	油	?	24,339	?	85,585	?	—
石	炭	4,842	21,784	—	—	4,842	+
薪	油	15,699	42,796	59,060	125,055	43,361	—
炭	炭	—	—	2,947,180	53,602	—	2,947,180
		—	—	912,252	24,006	—	912,252
生	糸	3,974	115,507	—	—	3,974	+
繰	綿	381,420	274,719	70,202	76,798	311,218	+
綿	糸	—	—	248,510	602,847	—	248,510
木	綿	833,647	704,409	122,250	70,604	711,397	+
吳	服	—	—	300,675	685,220	—	300,675
太	物	33,573	35,884	65,310	156,474	—	31,737
洋	反	—	—	?	105,178	?	—
藍	玉	12,005	10,090	10,852	11,084	+	1,153
元	結	841	35,939	—	—	+	841
漆	器	31,585	48,248	—	—	+	31,585
陶	器	157,615	312,692	—	—	+	157,615
蠅	傘	—	—	?	115,501	?	—
時	計	—	—	?	63,778	?	—
	紙	?	13,979	?	37,305	?	—
鐵	類	?	12,338	?	80,220	?	—
洋	白	—	—	5,760	62,880	—	5,760
材	木	362,681	228,332	—	—	+	362,681
伐	石	—	—	38,600	14,860	—	38,600
疊	表	284,454	38,371	—	—	+	284,454
種	粕	?	26,704	?	13,284	?	+
	糠	878,713	33,110	—	—	+	878,713
干	鰯	1,122,006	261,587	3,665,942	701,116	—	2,543,936
鰯	肥	—	—	—	—	—	—
料	料	—	—	—	—	—	—
計			2,958,864		4,644,775		—3,597,227
							+2,226,366

明治17年「愛知縣統計書」商業の部1-6丁により作成す。

八%をしめておる。その外としては酒一五%、陶器一四%、材木一〇%、繰綿九%、生糸五%等が主要なものであつた。

輸入品では呉服及び太物が最大で兩者合せて純輸入額七十万圓餘に及び、全體の二二%をしめる。これにつぐのは綿糸一七%、干鰯・鰯粕・鰯肥等の魚肥一二%、砂糖九%、米八%等であつた。「第二統計年鑑」には明治十三年の「愛知縣港別輸出入表」が掲載されておるので參考までにそれを最後に掲げておく。

三重縣

明治十六年「三重縣統計書」により桑名・四日市・津・大口四港の明治十六年の輸出入額を示すと第七五表の如くである。

明治13年愛知縣港別輸出入表 (74表)

港灣河岸	輸 出 額	主 要 輸 出 品	輸 入 額	主 要 輸 入 額
龜 崎 港	827,003	清酒, 絞粕, 大豆	831,221	絞粕, 玄米, 大豆
半 田 港	479,994	清酒, 醋, 晒木綿	647,746	絞粕, 米, 菜種
熱 田 港	223,867	米, 薪, 材木	458,487	米, 魚, 材木
平 阪 港	659,445	玄米, 繰綿, 木綿	431,512	絞粕, 木綿, 砂糖
豊 橋 港	148,346	琉球表, 茶, 杉四分板	744,313	笹笠, 呉服, 太物
堀 河 岸	1,191,749	砂糖, 和紙, 肥料	3,744,293	砂糖, 洋糸, 肥料
土器野新岸	34,440	米, 小麥	111,308	炭, 薪, 鹽
起 河 事	496,446	結城綿	78,367	薪, 種粕, 絞粕
大 濱 村	617,047	米, 繰綿, 清酒	551,488	米, 繰綿, 木綿
其他三ヶ所	82,984		40,282	
合 計	4,761,321		7,639,017	

備考 「第二統計年鑑」200頁による。

明治16年三重縣港別輸出入表 (75表)

港 名	輸 出 額	輸 入 額
桑 名	6,238,093 (105,063)	7,791,038 (1,749,626)
四 日 市	6,829,483 (4,833,399)	3,854,360 (1,858,276)

津	円 73,387 (60,820)	円 198,679 (186,112)
	219,201 (219,201)	36,169 (36,169)
大 口		
計	13,360,164 (4,315,752)	11,880,246 (2,853,906)

備考 カツコ内の數字は純輸出入額である。
明治16年「三重縣統計書」183-191頁により作成す。

右四港の輸出入額を三重縣全體のそれとみなして輸出入品を整理してみると第七六表の如くである。

表記の如く輸出入を差引いた結果によると、主要輸出品は生糸(二七%)、茶(二二%)、木綿(一六%)、陶器(一〇%)、酒(七%)、屑糸(五%)等であり、主要輸入品は洋糸(二三%)、米(一九%)、砂糖(一八%)、呉服太物(一二%)、干鰯、粕(一〇%)等であつた(第七七表)。

なお「第二統計年鑑」には明治十三年の「三重縣港別輸出入表」が掲載されておるのでそれを最後に掲げておく(第七七表)。

靜岡縣

明治十七年「靜岡縣統計書」には下田・清水・焼津の三港につき明治十三年より十七年に至る各年度の輸出入額が掲載されておる。こゝでは最も古い明治十三年度をと、まず各港の輸出入額をみると第七八表のごとくで、清水港の地位が壓倒的であつた。

次に、右三港の貿易額をやはり靜岡縣全體のそれとみなして輸出入品を整理してみると第七九表の如くである。

純輸出入額についてみると、輸出においては最大の輸出品は茶であつて、全體の七三%をしめておる。これにつぐのは紙(一一%)、椎茸(七%)、砂糖(三%)等であつた。輸入においては最大のものは織物で全體の三九%を占めている。これに次ぐのは麥類(一一%)、米(一〇%)、大豆(一〇%)、干鰯(八%)、石油(六%)、酒(六%)

明治16年三重縣輸出入品表 (76表)

品 目	輸 出	輸 入	差 引
米	石 840,288 4,452,668	石 930,546 6,992,911	石 90,258 540,243
麥	石 43,157 62,090	石 25,391 113,633	石 ? 51,543
豆	石 48,656 787,751	石 ? 468,220	石 ? 319,531
穀	石 1,849 13,313	石 1,629 14,166	石 220 853
酒			
溜			
砂	袋 17,493 193,542	石 162,366 56,919 圓 72,009	石 ? 517,115
糖			
鹽	袋 ? 15,776	石 ? 13,797	石 ? 1,979
茶	斤 38,628 圓 40,360 圓 2,787	斤 21,114 圓 3,581	斤 +17,514 圓 +36,779 圓 +2,787
煙	草	草	草
鯉	節	節	節
生	魚	魚	魚
鹽	魚	魚	魚
素	麵	麵	麵
菜	種	種	種
水	油	油	油
石	油	油	油
薪			
生	糸	糸	糸
屑	糸	糸	糸
綿			
木	綿	綿	綿
吳服太物			
洋 糸			
洋 反物			
麻			
玉 藍			
傘			
陶 器			
紙			

明治十年代の内國貿易(二) 山口

鐵		—	—	14,474	96,615	—	14,474	—	96,615
材	木	155,813本 70,388坪	124,877	192,833本 19,517坪	103,908	?	+	20,969	
干	鯛	34,331	39,265	49,091	78,882	—	14,760	—	39,617
ノ	粕	59,056	136,460	77,275俵 6,828石	377,228	18,219俵 —6,828石	—	240,768	
糠		55,528	5,208	—	—	+	55,528	+	5,208
計			13,360,164		11,880,246				+4,315,752 —2,853,906

備考 明治16年「三重縣統計書」184-191頁により作成す。

明治13年三重縣港別輸出入表 (77表)

港灣河岸	輸 出 額	主 要 輸 出 品	輸 入 額	主 要 輸 入 品
桑 名 港	11,236,996	米, 茶, 鯉節	15,277,188	米, 酒, 吳服
四 日 市 港	12,024,022	木綿類, 茶, 吳服太物	8,705,195	唐糸, 茶, 吳服太物
津 港	246,684	草履表, 米, 絞粕	635,572	砂糖, 米, 洋糸
白 子 港	157,368	—	171,493	—
木 本 浦	64,169	—	112,029	—
三 渡 河 岸	163,304	—	19,914	—
大 口 河 岸	288,915	—	212,756	—
表 川 崎 町	26,282	—	360,385	—
其他五ヶ所	138,871	—	320,199	—
合 計	24,346,611		25,814,731	

備考 「第二統計年鑑」199-200頁による。

明治13年静岡縣港別輸出入表 (78表)

港 名	輸 出 額	輸 入 額
下 田	19,986 (19,986)	51,309 (51,309)
清水	1,504,885 (1,020,604)	1,033,797 (542,894)
焼 津	58,739 (57,567)	132,627 (131,455)
計	1,583,610 (1,096,000)	1,217,733 (725,658)

備考 明治17年「静岡縣統計書」157-165頁により作成す。

カッコ内の數字は純輸出入額である。

明治13年静岡縣輸出入品表 (79表)

品名	輸出	輸入	差引
米	1,615 ^石 17,137 ^石	10,554 ^石 90,323 ^石	- 8,939 ^石 - 73,186 ^石
麥	75 451	7,100 41,264	- 7,025 - 40,813
小麥	338 2,701	5,002 39,110	- 4,664 - 36,409
大豆	501 3,507	9,503 75,480	- 9,002 - 71,973
鹽	43,944 61,576	40,131 50,588	+ 3,813 + 10,988
砂糖	242,678 135,873	220,150 105,257	+ 22,528 + 30,616
茶	1,841,548 801,302	2,000 7,727	+ 1,839,548 + 793,575
酒	128 2,410	7,287 42,079	- 7,159 - 39,669
煙草	5,208 14,727	35,279 19,989	- 30,071 - 5,262
鯉節	11,675 29,799	9,670 22,055	+ 2,005 + 7,744
織物	68,060 54,426	327,292 331,094	- 259,232 - 276,668
材木	? 5,090	121 ^束 10,340 ^本 11,319	? - 6,229
鐵	11,628 7,750	15,024 10,016	- 3,396 - 2,266
疊表	41,680 7,740	53,610 9,213	- 11,930 - 1,473
種油	416 10,466	700 12,930	- 284 - 2,464
石油	1,308 18,678	4,691 63,092	- 3,383 - 44,414
紙	? 226,159	750,470 105,635	? + 120,524
干鰯	663 802	32,932 55,308	? - 54,506
種粕	5,086 2,034	50,467 24,832	? - 22,798
紙草	92,524 22,516	79,670 11,999	+ 12,854 + 10,567
陶器	9,585 18,415	24,352 42,518	- 14,767 - 24,103
藍	6,665 4,337	27,340 11,869	- 20,675 - 7,532
椎茸	72,015 81,034	2,024 3,120	+ 69,991 + 77,914
炭	73,490 11,433	4,029 756	? + 10,677
薪	95,000 742	453,954 8,624	- 363,954 - 7,882
其他	42,505	21,536	+ 20,969
合計	1,583,610	1,217,733	+ 1,083,574 - 718,277

明治十年代の内國貿易(二) 山口

備考 明治17年「静岡縣統計書」158-165頁により作成す。

(%)、陶器
(三%)、種
粕(三%)等
であつた。